

商工經濟日誌

(自昭和四年十二月十六日
至昭和五年三月卅一日)

内國の部

十二月十六日(月) ▲大藏證券六千萬圓發行

二十日(金) ▲中旬貿易は五百拾九萬四千圓の入超

▲農林省は古米四十萬石賣渡新米五十五萬石買入條項

發表

廿一日(土) ▲昭和レゾン初配當六分可決

廿三日(月) ▲第五十七議會召集

▲五年豫算綱要發表

▲日銀特融六億を割る本日現在で五億九千九百四拾萬

圓

▲五分利鐵道公債千五百萬圓を預金部引受て發行

廿七日(金) ▲東京市會は増稅諮問案を可決

▲鹽價の引下げ決定

廿八日(土) ▲大藏省は昭和三年中の貿易外收支勘定を

發表

卅一日(火) ▲日銀兌換券は拾六億四千百八拾五萬壹千

圓貸出は六億七千九百六拾八萬七千圓

一月四日(土) ▲正金銀行は對英爲替建値二志零片八分

の二に八分一方引上

七日(火) ▲農林省は十四日實行の買替米五十五萬石

の買入價格を發表

九日(木) ▲臨時産業審議會の官制要項決定

十日(金) ▲中旬貿易の入超は僅かに七拾五萬七千圓

十一日(土) ▲金解禁實施

▲正金銀行は爲替建値を對米四十九弗四分の一對英二志零片四分の一に各一ポイント方引上

十四日(火) ▲正金爲替建値を各一ポイント引上て對英

二志零片十六分の五對米四十九弗八分の三とした

十五日(水) ▲全國民衆黨は結黨式を舉行

十七日(金) ▲米國ナショナルシテ一銀行支店金貨千貳

百萬弗現送の旨日銀に通告

十八日(土) ▲昭和四年醸産額農林省發表

二十日(月) ▲中旬貿易入超貳千五百四拾五萬八千圓と

前年に比し貳百五拾六萬六千圓を増加

廿一日(火) ▲議會解散さる

▲四年米買收高農林省發表收穫高五千九百七十二萬五

千石

廿五日(土) ▲大藏省證券へ號四千萬圓割引日歩壹錢壹厘日銀引受で發行し即日實切

廿八日(火) ▲紡績聯合會總會操短案を可決

卅一日(金) ▲下旬貿易入超五百六萬圓を前年より千貳百八拾七萬八千圓減

二月一日(土) ▲解禁後三週間に正貨約壹億貳千萬圓を減少

七日(金) ▲四年度朝鮮米實收高一千三百七十萬七百四十六石を發表

▲大藏省は震災善後充當第一回五分利公債參千萬圓を預金部引受で發行

十日(月) ▲上旬貿易入超千百拾萬圓

▲金解禁後の一ヶ月間に流出したる我國の正貨は六千六百九拾萬圓

十三日(木) ▲羅灣總督府發表四年度第二期米實收高は三百六十二萬八千二百十五石

十九日(水) ▲金解禁以後の正貨兌換は壹億七拾萬五千圓と壹億圓を突破

二十日(木) ▲第二次普選執行

▲中旬貿易入超額千百七拾四萬五千圓

▲生絲相場低落

廿五日(火) ▲特別議會召集四月廿一日開院式同廿三日

會期廿一日間を決定

廿八日(金) ▲五分利震災善後公債千參百萬圓を預金部引受で發行

▲下旬貿易入超千貳百貳拾萬五千圓

三月八日(土) ▲糸價補償法適用の具體的條件決定

十日(月) ▲上旬貿易の入超額は四百拾七萬圓

十一日(火) ▲製粉販賣合同成る

十九日(水) ▲對米爲替相場四十九弗八分三厘現

二十日(木) ▲中旬貿易入超は八百八拾二萬六千圓

三十一日(月) ▲下旬貿易入超貳千參百五拾八萬九千圓

外國の部

十二月廿三日(月) ▲露支復交議定書調印

▲インド政府發表の第一回印綿收穫豫想は五百卅二萬俵と前年實收より卅一萬八千俵を減じた

廿四日(火) ▲佛國軍縮會議全權決定

▲スエーデン銀行は公定割引歩合を五分より四分五厘に引下げ一月一日實施決定

廿五日(水) ▲デンマーク國立銀行は公定割引歩合を五分に五厘方引下げ廿七日實施決定

- 廿七日(金) ▲若槻全權一行ロンドン着
- ▲ノルウェー國立銀行は公定歩合五分に五厘方引下
- 廿九日(日) ▲波蘭バルテン内閣成立
- 一月三日(金) ▲第二回獨逸の賠償會議へイグに開催
- 七日(火) ▲米國上院は絹物關稅引上げ案(從價五割五分より六割に)を否決
- 八日(水) ▲倫敦銀塊相場現物廿片十六分の五の新安値示現
- 十日(金) ▲支那國民政府は國務會議で銀塊暴落對策とし票金の投機買買禁止を決議
- 十三日(月) ▲第五十八回國際聯盟理事會をセネバに開催
- ▲獨逸國立銀行は公定割引歩合を六分五厘に五厘引下
- 十五日(水) ▲支那關稅を金建に改正
- ▲和蘭國立銀行公定割引歩合四分に五厘引下
- 廿一日(火) ▲海軍會議開會
- 廿三日(木) ▲カナダ政府は千九百廿九年産小麦二億九千九百五十二萬ブツセルを發表
- 廿四日(金) ▲澳太利國立銀行公定割引歩合を七分五厘より七分に五厘引下
- ▲匈牙利國立銀行も同様に利下
- 廿五日(土) ▲大連海關金建實施の告示を撤回

- 廿七日(月) ▲米國上院はレイヨン關稅引上案を否決
- 三十日(木) ▲佛國々立銀行公定歩合を三分に五厘引下
- ▲波蘭銀行公定歩合を八分に五厘引下
- 二月四日(火) ▲倫敦銀塊廿片を割る
- 六日(木) ▲英蘭銀行公定割引歩合を四分五厘に五厘方引下
- 七日(金) ▲ニウヨーク準備銀行は公定割引歩合を四分に五厘引下
- ▲ウヰレットトグレイ社調査の世界産糖豫想は二千六百五十九萬三千トン
- 十日(月) ▲シヤバ銀行は公定割引歩合を五分に五厘引下
- ▲澳太利銀行公定歩合を六分五厘に五厘方引下
- 十七日(月) ▲佛國タルゲユ内閣は下院の信認投票に五票で敗れ辭職
- 二十日(木) ▲印度政府發表棉花最終收穫豫想五百五十三萬三千俵
- 廿一日(金) ▲佛國の急進社會黨總裁カミーユ・シヨウタン氏組閣を命ぜられ閣員決定し名簿を提出
- 廿六日(水) ▲佛國シヨウタン氏内閣信任投票に十五票で敗れ瓦解

- 廿八日(金) ▲印度關稅引上
- 三月一日(土) ▲伊國々立銀行は公定割引歩合を六分五厘に五厘引下
- 二日(日) 佛國タルジュエー内閣成立
- 五日(水) ▲米國上院ヒリツピン獨立案提出さる
- 六日(木) ▲英蘭銀行は公定割引歩合を四分に愛蘭銀行は五分に五厘引下
- ▲濠洲政府は絹物關稅を四割に一割引上る旨商工省に入電
- ▲和蘭銀行は三分五厘に瑞典國立銀行は四分に公定割引歩合を各五厘引下
- 七日(金) ▲獨逸國立銀行は公定割引歩合を五分五厘に丁抹銀行は四分五厘に五厘引下
- 十三日(木) ▲ニウヨーク聯邦準備銀行は公定割引歩合を三分五厘に五厘引下
- ▲ポーランド銀行は公定歩合を七分に一分引下
- 二十日(木) ▲英蘭銀行は公定割引歩合を三分五厘に五厘引下
- ▲ノルウエ國立銀行も四分半に五厘引下
- 廿一日(金) ▲境國銀行公定歩合を六分に五厘引下
- 廿四日(月) ▲和蘭銀行公定歩合を三分に五厘引下
- 廿六日(水) ▲ニウヨーク東洋向利付手形取扱銀行は

- 同手形の割引歩合を六分に五厘引下
- 廿七日(木) ▲獨逸ミユラー内閣總辭職
 - 廿九日(土) ▲獨逸ブリュニング内閣成立
 - 三十一日(月) ▲インド縮布關稅案通過